



ビジョン策定・料金改定に係る 上下水道審議会 〈下水道事業〉



入間市

Iruma City

上下水道審議会

～目次～



1

下水道事業の使用料について

- 1-1 下水道事業の運営原則
- 1-2 下水道使用料の対象経費
- 1-3 入間市の下水道使用料体系
- 1-4 入間市の下水道使用料の現状

2

将来の事業環境



3

財政シミュレーション

使用料収入の減少

水洗化人口の減少に伴い、有収水量が減少する見通し。有収水量が減少するため、現行の使用料単価のままでは使用料収入が減少する。

維持管理負担金の増加

埼玉県が運営する荒川右岸流域下水道の維持管理負担金が増額改定予定であり、入間市が埼玉県に支払う負担金が増加する。

賃金・物価・金利の上昇による支出の増加

近年、賃金、物価、金利が上昇しており、今後も増加の見通し。下水道事業の費用も、今後も増加する見通しとなる。



将来的には、**収入：減少**、**支出：増加**の見通しであり、下水道**事業を取り巻く環境はますます厳しい**ものになる見通し。



入間市下水道事業の課題

経費回収率が100%を下回っており、**収入不足分は一般会計に依存**している。経費回収率は、全国平均、類似団体平均よりも低水準。

$$\text{経費回収率【\%】} = \frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}} \times 100$$



汚水処理原価は、全国平均、
類似団体平均と比較して低廉

⇒**94.92%**

（令和6年度決算見込み）

令和6年度決算見込みの基準外繰入金は**約1.8億円**



受益者負担の原則に則り、**下水道使用料を適正化**する必要がある

（⇒令和7年度以降は、基準外繰入金は**0円とする**方針）

1-1 下水道事業の運営原則

下水道は、市役所が、
使用料を徴収して運営
している公営企業

運営原則

- ▶ **受益者負担**の原則
- ▶ **独立採算制**による事業運営

◆雨水公費、汚水私費の原則◆

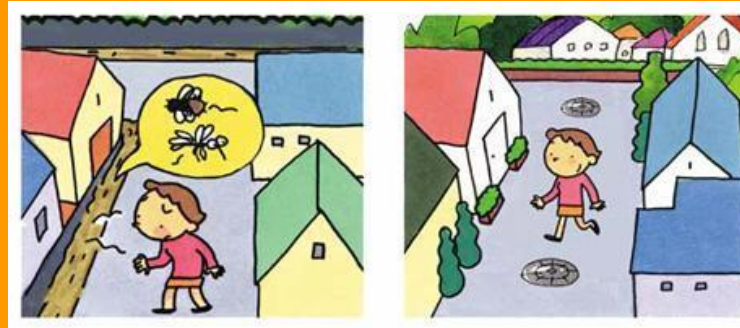
雨水処理（浸水防除）



【受益者の特定】不可

事業に要する費用は
公費（税金）が原則

汚水処理（生活雑排水の処理）



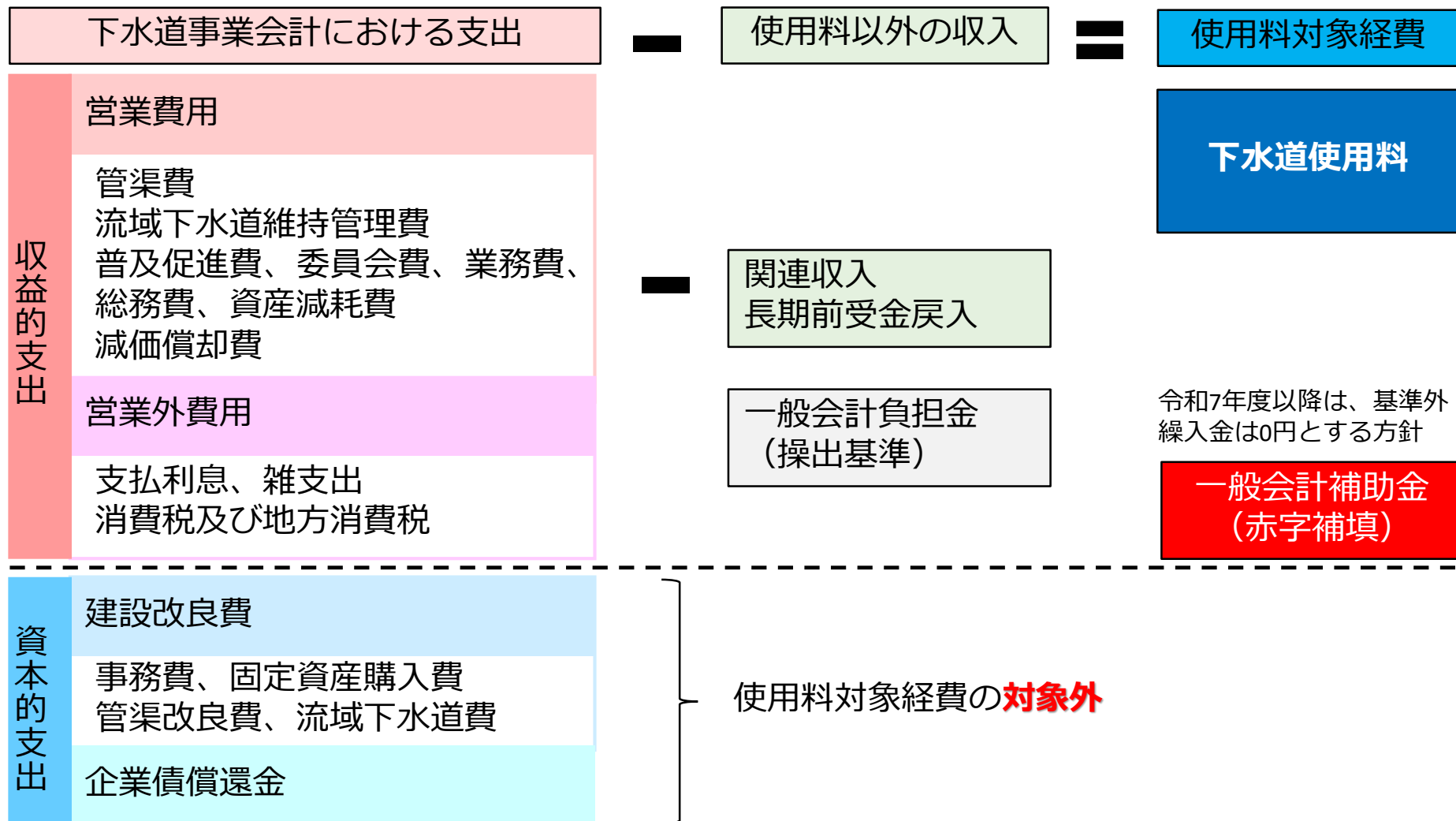
【受益者の特定】可能

事業に要する費用は
私費（使用料）が原則

1. 下水道事業の使用料について

6

1-2 下水道使用料の対象経費

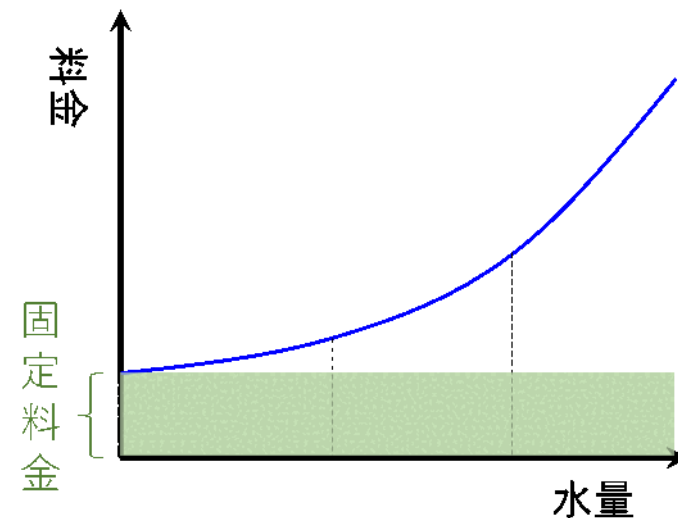


1-3 入間市の下水道使用料体系

- ・従量性、累進性を採用
- ・基本使用料制を採用
- ・前回改定：平成19年6月1日
- ・一般家庭20m³/月：1,815円（税込）1,650円（税抜）（令和5年度）

入間市の下水道使用料体系（2か月、税抜き）

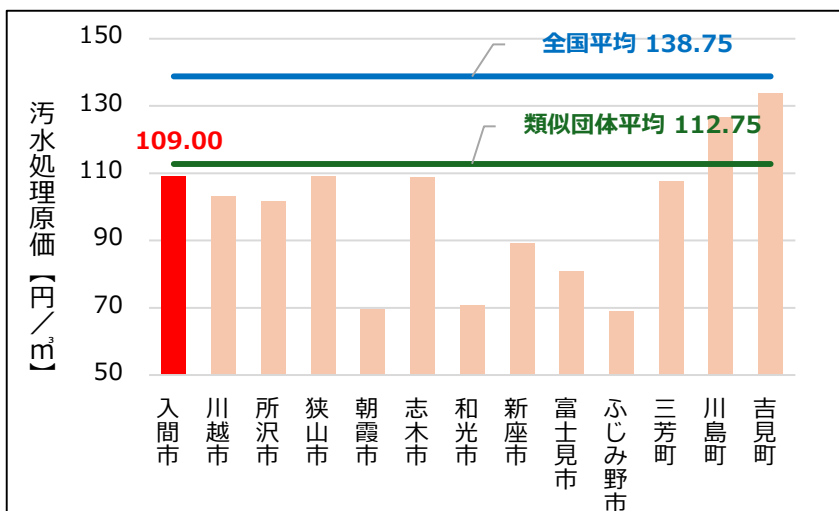
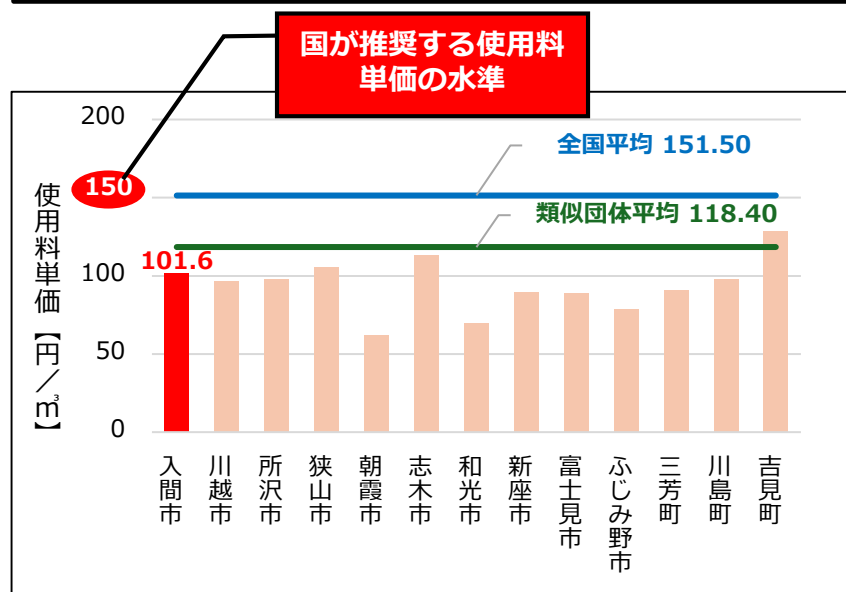
汚水排除量（使用水量）：m ³	使用料基準額
20m ³ まで	1400円
20m ³ を超え40m ³ までの分	1m ³ につき95円
40m ³ を超え60m ³ までの分	1m ³ につき105円
60m ³ を超え100m ³ までの分	1m ³ につき120円
100m ³ を超え200m ³ までの分	1m ³ につき130円
200m ³ を超え400m ³ までの分	1m ³ につき145円
400m ³ を超え1000m ³ までの分	1m ³ につき170円
1000m ³ を超える分	1m ³ につき190円



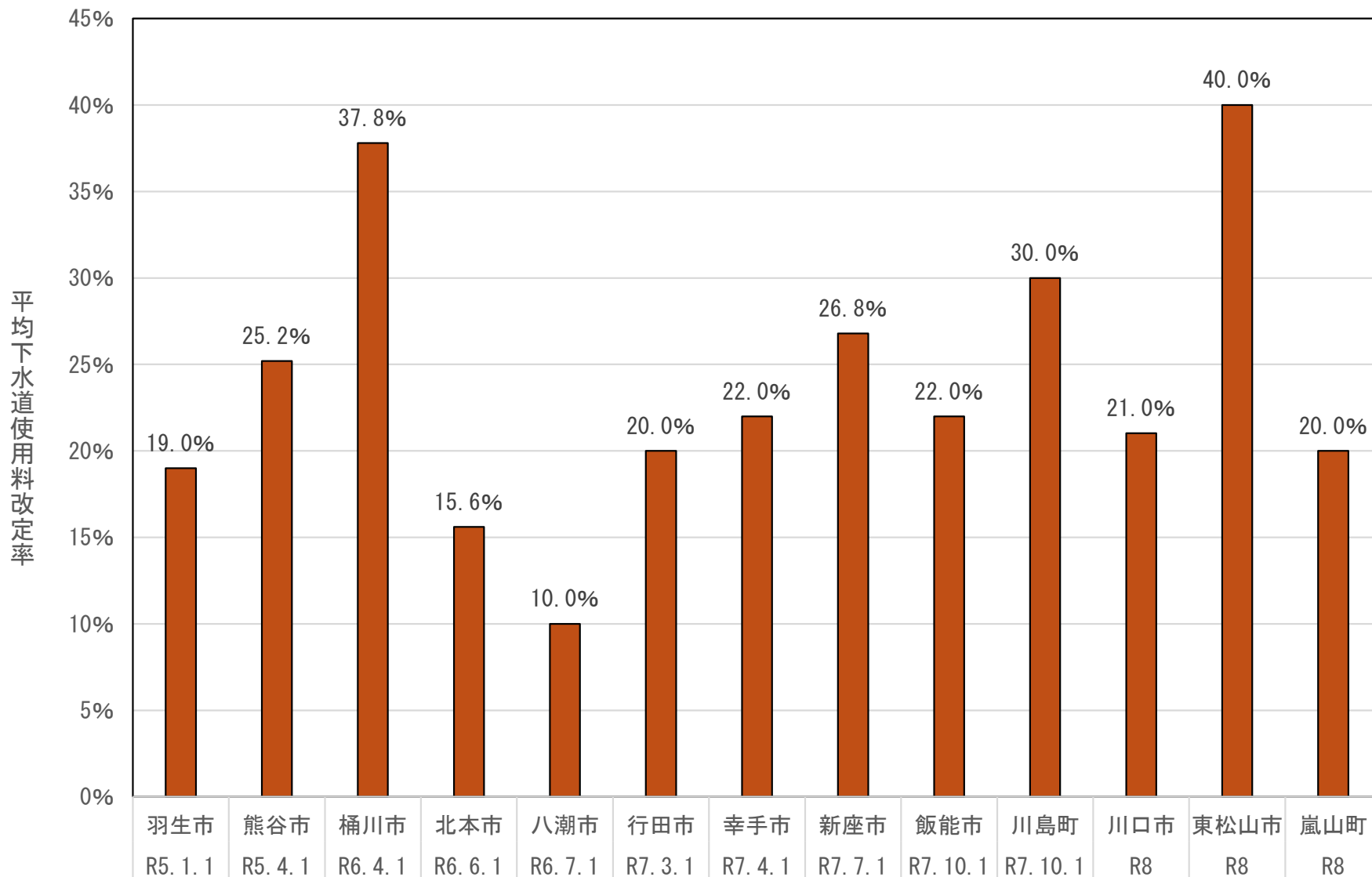
使用料体系のイメージ

入間市の下水道使用料の現状

- 令和5年度決算で使用料単価が101.6円/m³である。
(令和6年度決算見込みでは、103.5円/m³)
汚水処理原価は109円/m³であり、7.4円/m³不足している。
(令和6年度決算見込みでは、109.1円/m³)
- 国が推奨する150円/m³の水準に達していない(2/3程度の水準)。
- 全国平均、類似団体平均と比較すると、大きく乖離している。
- 近隣団体では、比較的高い水準の区分になる。

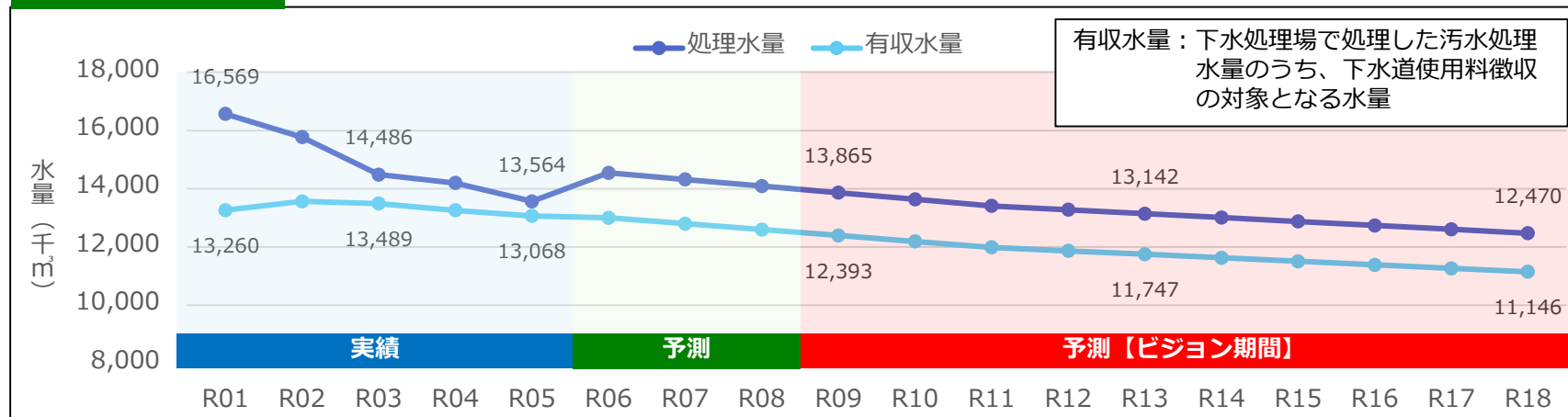


近隣事業体（埼玉県内）の下水道使用料改定の状況



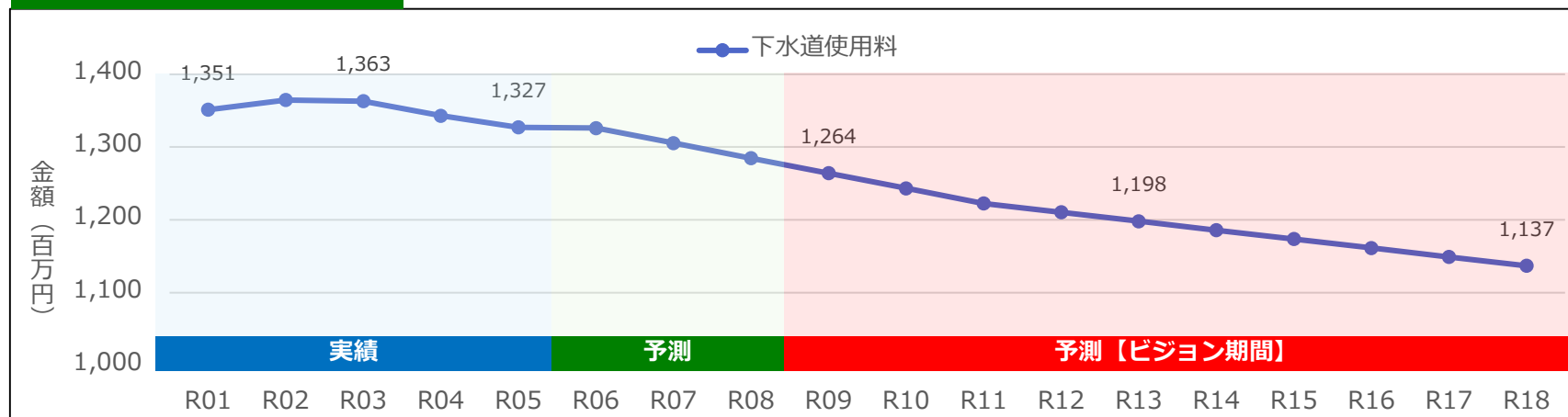
有収水量

令和18年度までに約1割減少。



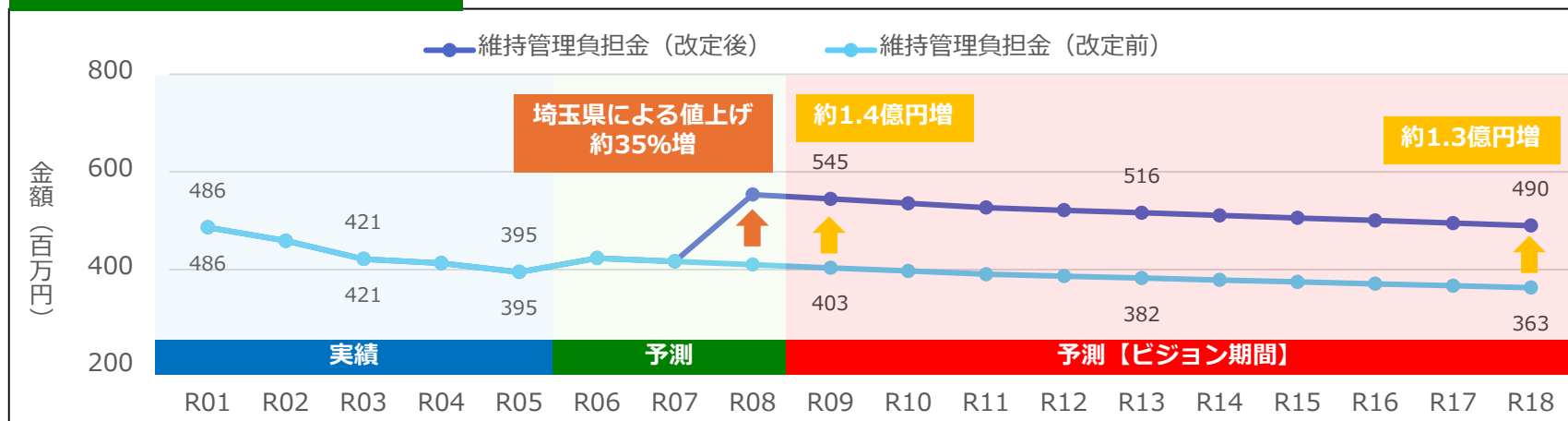
下水道使用料

使用料改定を行わないと仮定した場合、
令和18年度までに約1割減少（約1.3億円減）。



維持管理負担金

埼玉県が運営する荒川右岸流域下水道において、令和8年度に約35%値上げ予定（約1.3～1.4億円増）。



流域下水道の維持管理負担金の改定について

流域名	令和6年度まで	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
荒川左岸南部流域	36円	37円	40円	41円	41円	41円
荒川右岸流域	32円	38円	43円	43円	43円	43円
中川流域	40円	43円	43円	43円	43円	43円

- 1立方メートル当たりの単価。消費税及び地方消費税を含みます。
- 改定は5年ごとに行っています。

出典：埼玉県HP

賃金・物価・金利

図5：賃金上昇率

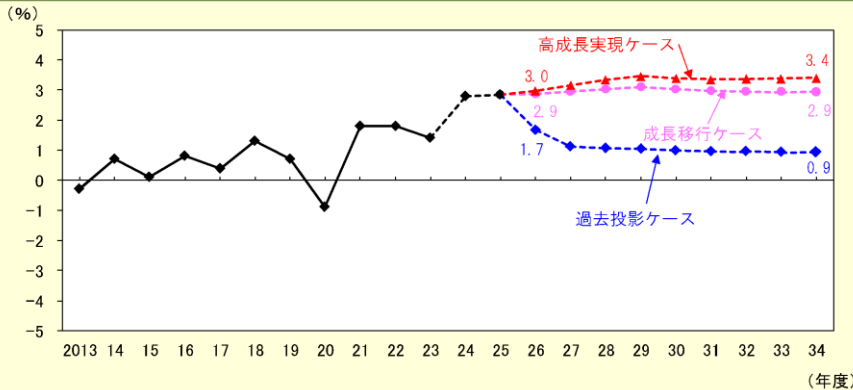


図6：消費者物価上昇率

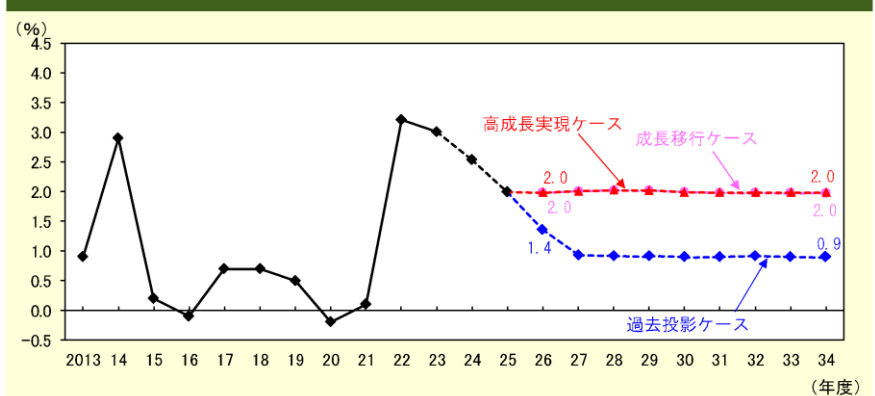
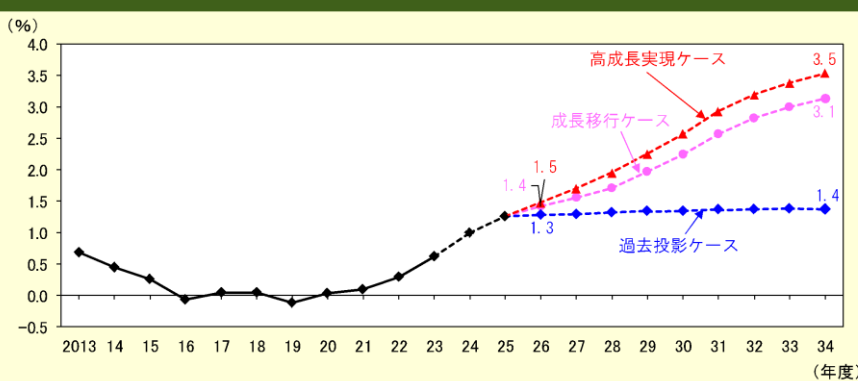


図7：名目長期金利



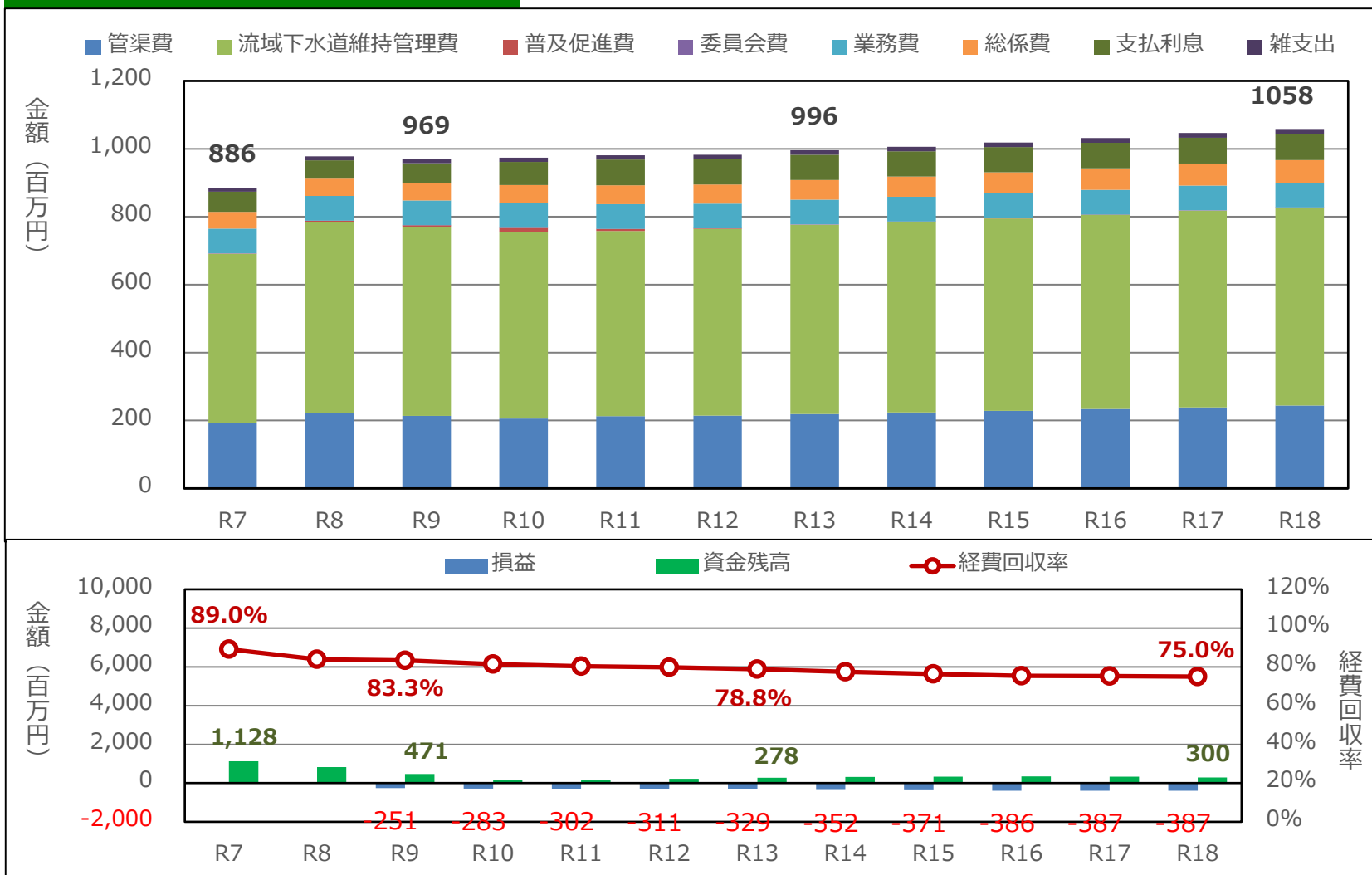
- ・ 賃金：各年2.9～3.4%程度上昇見通し
- ・ 物価：各年2.0%程度上昇見通し
- ・ 金利：1.4～3.5%程度まで上昇見通し



事業費用は年々増加する見通し

出典：中長期の経済財政に関する試算（令和7年1月17日経済財政諮問会議提出）内閣府

将来支出の推計結果



※投資額は直近3年間の予定額と、それ以降は過年度の平均値約2.0億円計上。
 維持管理費、人件費等は、直近5年の平均値に物価上昇率等を加味して計上。
 令和7年度は予測値でシミュレーション。(予算値を使用していない。)

使用料改定の目標設定①

- ・ 機械的に使用料算定期間（R9～R13年）の経費回収率が100%以上となるように下水道使用料を改定（約24%増額改定）。

- ・ 令和8年10月改定を想定すると約24%の増額改定となる。

一般家庭20m³/月：1,815円 ⇒ 2,251円（+436円）（税込）

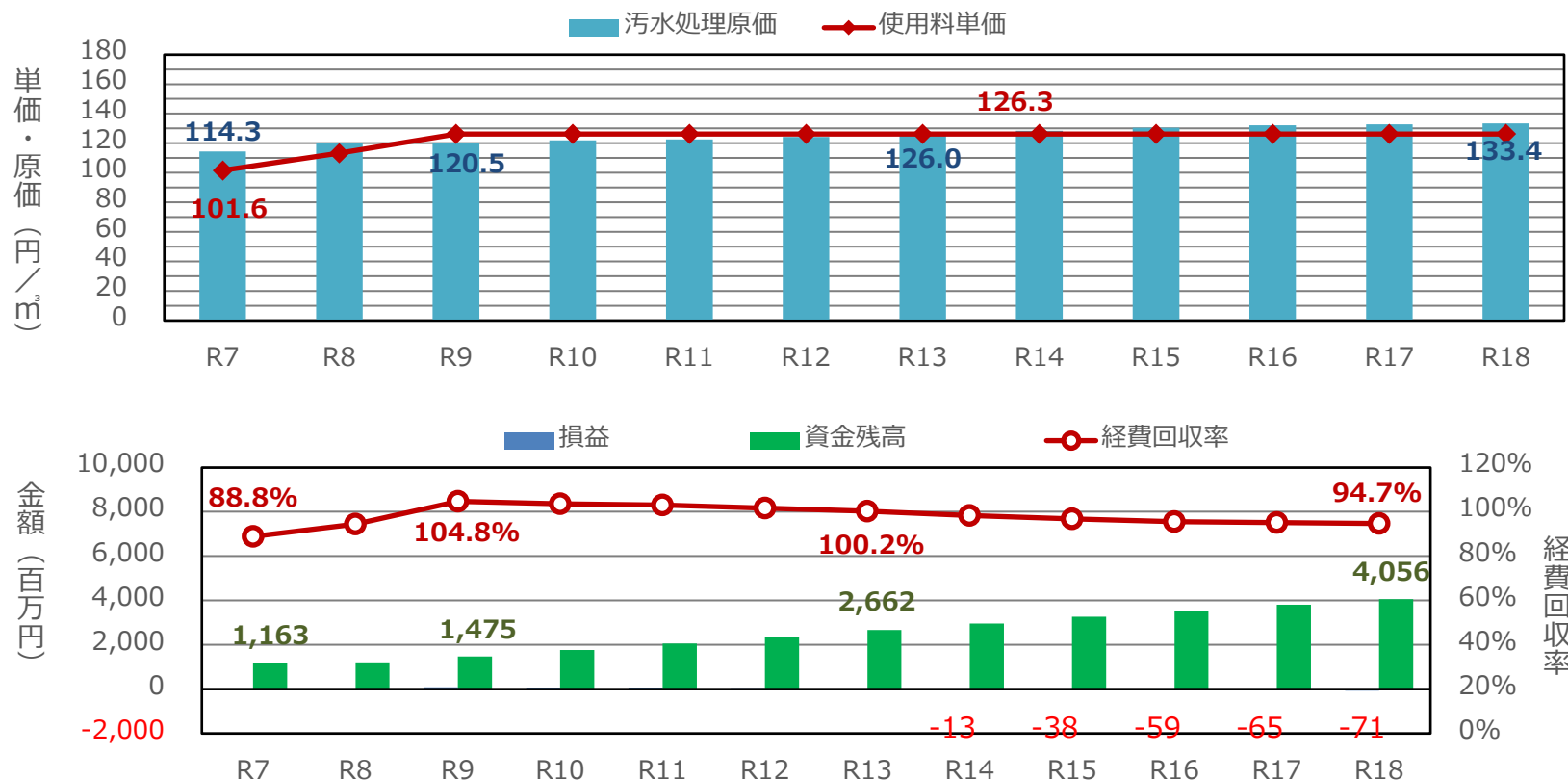
使用料改定の目標設定②

- ・ 八潮市の道路陥没事故を踏まえ、老朽管渠調査・修繕・更新工事対策費用の確保。（約35%増額改定）。

- ・ 令和8年10月改定を想定すると約35%の増額改定となる。

一般家庭20m³/月：1,815円 ⇒ 2,450円（+635円）（税込）

①使用料改定有りの試算【R8.10 24%改定】



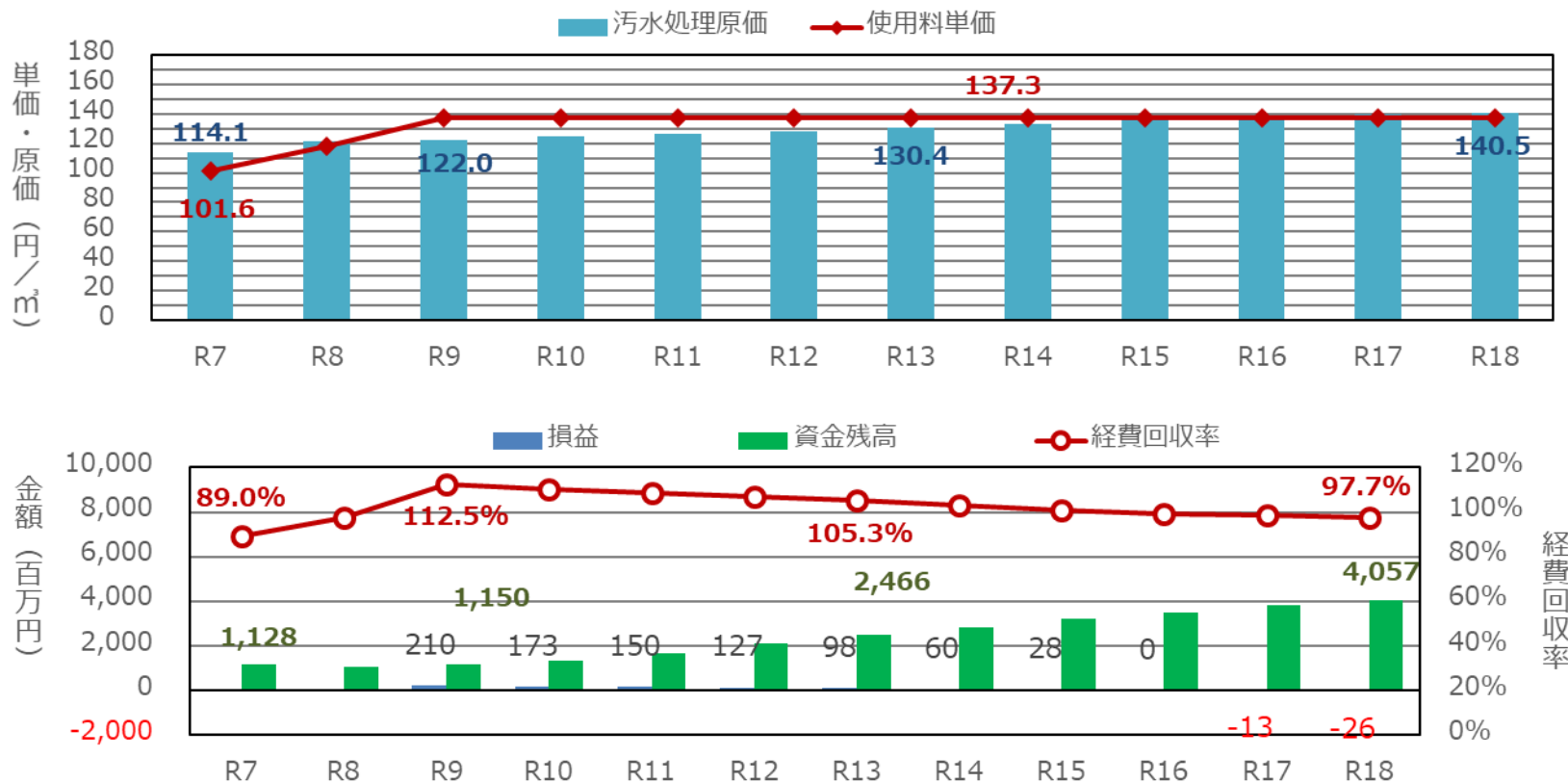
- ・ 損益は、令和9年度から令和13年度は黒字となるが、令和14年度以降は赤字となる。
- ・ 資金残高は増加傾向で、令和18年度で約41億円となる見込み。
- ・ 経費回収率は令和9年度から令和13年度では100%以上を確保できる。
- ・ 基準外繰入金は、令和7年度以降計上していない。

※投資額は直近5年の平均値約2.0億円計上。

維持管理費、人件費等は、直近5年の平均値に物価上昇率等を加味して計上。

令和7年度は予測値でシミュレーション。（予算値を使用していない。）

②使用料改定有りの試算【R8.10 35%改定】



- ・ 損益は令和9年度から令和16年度までは黒字となる、令和17年度以降は赤字となる。
- ・ 資金残高は増加傾向で、令和18年度で約41億円となる見込み。
- ・ 経費回収率は令和9年度から令和15年度までは100%以上を確保できる。
- ・ 基準外繰入金は、令和7年度以降計上していない。

※投資額は直近3年間の予定額と、それ以降は年間約8.0億円計上。
 維持管理費、人件費等は、直近5年の平均値に物価上昇率等を加味して計上。
 令和7年度は予測値でシミュレーション。（予算値を使用していない。）